

# 提携米通信

2012年12月号・黒瀬農舎



第20回ブナ植え (012. 11. 03撮影)

## この一年のご支援・感謝!

今年も残すところ1ヶ月。

あっという間に一年が過ぎました。

この一年も我が農舎のお米作りをご支援下さってありがとうございました。

また、ブナの植栽活動への参加やカンパなどありがとうございました。

心よりお礼申し上げます。

さて、毎年文化の日に行っているブナ植栽の準備に数日前から取り掛かった頃

より、今年の夏前より長く続いた好天が裏返へって、大雨の日が多くなりました。

植栽の日の天候が大変心配でしたが、無事にブナを植えることが出来ました。

ところで、その後も11月は、毎日のように集中豪雨など悪天候が続いている中で、急に衆議院が解散され今年の師走の世は騒がしくなりそうです。

今度の選挙は、景気対策と年金や税の財政問題、原発問題、TPP問題など重要な課題が山ほどあります。

票集めだけのマニフェストで有権者を騙した民主党や、今日の日本の危機を生んだ張本人の自民党など今までの政権党ではこれらを解決するとは思われません。

この点は、多くの人々が同じ思いだと思います。でも、同時に、新しく生まれた幾つもの政党の主張も、彼らの既成政党に対する批判については同感ですが、日本政治を任せられるかどうかと問えば、これも疑問で信頼に足りません。

例えば「日本は輸出大国」と信じる人が多く、TPP推進派もそのように主張します。でも、実際には日本の国内総生産(GDP)に占める輸出依存(外需)は10%程度に過ぎない。その上、外需拡大の道を選んでTPPに参加しても、消耗戦に突入するだけで輸出増も期待薄で日本経済の展望は見えません。

一方TPPなど無視して外需をおろそかにする道を選べば、外需による内需寄与が損なわれて内需は半減。…いずれも日本の将来を示す党はありません。

でも、選挙の棄権はもっと政治悪化に繋がります。何か一つに絞って投票するしかなさそうです。

先行き不透明の中でこそ一番大事なのは健康です。どうぞご自愛の上ご家族お揃いで佳い新年をお迎え下さい。

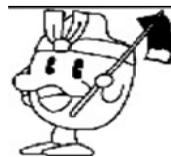
## 提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

ライスロッジ大潟 代表 黒瀬 正

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887



E-mail: [akita@kurose.com](mailto:akita@kurose.com) Web:

提携米 黒瀬農舎

検索

## 馬場目川源流部のブナ植栽20年周年

馬場目川源流部の国有林にブナを植える運動を始めて、今年は20年目になりました。

ブナは毎年文化の日に植えて、植え付け後数年は、夏に下草刈りを行ってきました。

お陰で、どの年に植えたブナも70%以上が活着しています。



成長した第一植栽地の18年から20年生のブナ

スタートの年より3年間使った第一植栽地は、18年から20年経ち、順調に生長して「ブナ林」の風情も出てきました。



朝の開会式は霧雨模様でした。

今年は20周年の記念すべきブナ植えに当たったことで、黒瀬農舎のロッジに関東や関西から集まって下さった方は例年よりも多く、また、半数以上が、20年前、10年前に自分で植えたブナを訪ねたいという方々でした。

2日のロッジでの前夜祭は、総勢30人に及びロッジのホールは満員。

我が農舎では、数年前までは、男鹿沖のマグロを準備していましたが、近年獲れなくなったので、数日前に白神の麓の八森漁港にマグ

ロを頼んでいました。

幸運にも、前日に10Kg余りのメジマグロ（本マグロの子供）が釣れ、また、このマグロは脂の乗りも超一級で、関東から参加下さった魚料理の専門家に腕を奮って頂き、皆さんに喜んで頂けました。

20年という歳月は、長いようで短いものです。

始めた頃、ヨチヨチ歩きで参加していた子供も、大学生になって今年参加してくれました。

このように続けられているのも、お米をご利用の皆さんが、



白神沖のマグロとイカ

カンパ下さったり、遠路ブナ植えに参加頂くことが、地元

の人々の勇気付けに繋がっていることが大きいです。

このブナ運動は、地域の生産者が、水や自然環境、農薬などに問題意識を持つことにも役立ってきたようで喜んでいきます。ありがとうございました。



ロッジでの前夜祭は30名余りで大盛会でした。